

福知山市教育大綱の体系図(案)

(現)福知山市教育大綱

(次期)福知山市教育大綱【事務局イメージ】

未来創造 福知山

| 政 策 | 施策の大綱 |
|----------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 【第1章】 市民が主体のまちづくり | 1 市民協働の推進 2 <u>人権・平和の尊重</u> 3 男女共同参画の推進 4 ユニバーサル社会の形成 |
| 【第2章】 人と文化・スポーツを育むまちづくり | 1 <u>生涯学習の推進</u> 2 <u>青少年の健全育成</u> 3 <u>学校教育の充実</u> 4 <u>高等学校との連携</u> 5 <u>大学教育の充実</u> 6 <u>文化財の保護・保存</u> 7 <u>文化活動の推進</u> 8 <u>スポーツ活動の推進</u> |
| 【第3章～第7章】 | |

福知山市教育大綱



(仮称)まちづくり構想 福知山

※市民参画により策定する市の最上位計画

(次期)教育大綱

(令和4年度～8年度)

理念・目標・基本方針など

● 響プラン・F

● 学校教育の重点(毎年度)

● 生涯学習の重点(毎年度)

(令和3年度～5年周期で検証)

【教育に関する個別計画】

【分野ごとの個別計画】

- 文化基本方針 (平成31年度策定)
- スポーツ振興計画 (平成31年度～令和10年度)
- 子ども子育て支援事業計画 (令和2年度～令和6年度)
- 人権施策推進計画(第三次) (平成28年～令和7年度)

【総合教育会議での御意見(平成28年度)】

- 本市の最上位計画である「未来創造 福知山」は本市教育行政の大元である。
- 「未来創造 福知山」では、今後の教育の充実、推進についての方向性を明確に示しており、当該計画を基本とした教育大綱とすべきである。
- 「未来創造 福知山」策定に際し、市民懇談会等が開催されており、地域住民の意見も反映されている

教育大綱の内容(案)

●策定の背景、位置づけ(多くの自治体で記載されています)

○基本理念

・教育理念

・めざす教育像、子ども像 など

○教育目標

○基本方針、重点項目(現在の大綱で記載されている内容)

・人権・平和の尊重

・生涯学習の推進

・青少年の健全育成

・学校教育の充実

・高等学校との連携

・大学教育の充実

・文化財の保護・保存

・文化活動の推進

・スポーツ活動の推進

※○印の項目では、記載の有無、内容等が自治体ごとで異なります。

【策定スケジュール(案)】

| 項目 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|------------|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|
| ①総合教育会議 | ○ | | | ● | | ● | | | |
| ②大綱概要作成 | ← | | | → | | | | | |
| ③大綱素案作成 | | | | ← | | | → | | |
| ④パブリックコメント | | | | | | | ← | | → |

①総合教育会議:7月(進め方・スケジュール等の確認)、10~12月大綱素案の審議

②大綱概要:教育委員会と連携し、記載内容を調整

③大綱素案:総合教育会議での御意見、「(仮称)まちづくり構想 福知山」の素案等を確認し、大綱素案を策定

④パブリックコメント:現大綱は「未来創造 福知山」策定時にパブリックコメントを実施。
次期大綱は、個別でパブリックコメント実施予定。

【参考】「(仮称)まちづくり構想 福知山」策定スケジュール

| 項目 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
|------------|-----|----|-------------|-----|-----|-----|----|-------|----|
| 市民懇談会 | 7/3 | | ○ (計画素案) | | | | | | |
| まちづくり構想審議会 | | ← | | | → | | | ○(答申) | |

※まちづくり構想審議会では、「(仮称)まちづくり構想 福知山」の計画素案に関して、11月頃に答申予定。

「(仮称) まちづくり構想 福知山」策定にかかる

市民懇談会 中間とりまとめ (第2分科会)

～子育てのしやすさと学びのまち～

1. 多様な学習機会の場をつくり「生きる力」と「レジリエンス」を育む

【意見交換の内容】 ※教育大綱に関する分野

- ・子どものいじめや不登校に関する内容、及びその原因や課題について
- ・全ての子どもが笑顔で過ごせる学校運営について
- ・「多様な学習機会の場」の創出や、一人ひとりの「生きる力」について

※レジリエンス：脆弱性の反対の概念。弾力、回復力、復元力、跳ね返りなどと訳される。

2. 子育ての相談や、父母間の交流が気軽にでき、一人ひとりの子供の個性を生かした子育てができる環境をつくる

【意見交換の内容】 ※教育大綱に関する分野

- ・気兼ねなく子育ての相談や交流、情報の共有ができる環境を整備について

3. 誰も孤立させず、生涯暮らせる環境をつくる

【意見交換の内容】 ※教育大綱に関する分野

- ・教育現場での、障がいについての学びや理解について
- ・個人、地域、学校、社会での支援により、障害の有無にかかわらず、生涯暮らせる環境づくりについて。

4. 互いに学び合い教え合う環境づくりや地域課題を自らで解決できるコミュニティについて

【意見交換の内容】 ※教育大綱に関する分野

- ・高齢者の孤立化について
- ・学び続けたい大人の「学びの意欲」について
- ・学んだことを活かす場について
- ・地域課題を自らで解決できるコミュニティの実現について

5. ICT 教育の推進により、個々のニーズに応じた学びを実現させる

「(仮称) まちづくり構想 福知山」策定にかかる

市民懇談会 中間とりまとめ (第3分科会)

～健康で生きがいのあるまち～

1. 健康で生き生きと長生きする「健康長寿」の達成を目指す

【意見交換の内容】※教育大綱に関する分野

- ・健康に関する様々な不安について
- ・運動不足、豊かな食生活による塩分や脂肪の取りすぎについて
- ・健康に関心、無関心など、自分自身や家族の見つめ直しと、将来を見据えて今の健康を一人ひとりが考える必要について

2. 生きがいをもち、様々（福祉、経済、教育、市民活動）な現場で活躍できる環境づくりを目指す

【意見交換の内容】※教育大綱に関する分野

- ・現代社会のストレス要因による、社会的不適応や精神的な不調について
- ・生きがいと健康について
- ・精神的、社会的な充実や、いきいきと活動ができる環境づくりについて

ICT活用教育の推進について

1 ICT環境整備について

- (1) 導入した機器類の紹介
 - ・iPad、大型モニター 等
- (2) ソフトウェア
 - ・授業用ソフト（ミライシード、ロイロノート）
 - ・管理用ソフト（MDM、フィルタリング）
- (3) その他無料アプリ
 - ・Microsoft365
 - ・ウェブ会議ツール（Zoom、Teams） 等

2 ICT活用支援について

- (1) 支援体制について
 - ・係の新設
 - ・担当指導主事の配置
 - ・ICT支援員の配置
- (2) 研修等の実施状況
 - ・ロイロノートの研修（5月11日）
 - ・ミライシードの研修（7月6日）
 - ・情報教育推進担当教諭の交流会議（6月17日）

3 学校での活用状況

- ・タブレット型端末 使用例
- ・授業の様子（動画視聴）
- ・持ち帰りの実施状況

4 iPadの操作体験

- ・ミライシード（ドリル教材「ドリルパーク」）
- ・ロイロノート（授業支援）

5 ラーニングイノベーションプロジェクトの今後について

- ・学校教育課より
- ・福知山公立大学情報学部 畠中准教授より

6 質疑応答

「GIGA スクール構想 1人1台タブレット端末を使った授業が始まっています。」

『ラーニングイノベーション・プロジェクト』

福知山ならではの ICT 活用教育の実現を目指します！

福知山市公立大学情報学部との連携による共同研究「ラーニングイノベーション・プロジェクト」を立ち上げ、統合型学習ソフト(AIドリル・授業支援・協働学習・分析)の導入をはじめ、「GIGAスクール構想」の先を見通し、将来にわたって蓄積される学習データを分析し学校現場にフィードバックさせ、教育活動に生かす最先端のシステムづくりに取り組んでいきます。

「ラーニングイノベーション・プロジェクト」

「ラーニングイノベーション・プロジェクト」とは、GIGAスクール構想(1人1台の学習者用PCと高速ネットワーク環境整備によって子どもたち一人一人に合わせた教育を実現させること)の実現と福知山ならではのICT(情報通信技術)活用教育を推進するために福知山公立大学情報学部と福知山市教育委員会が連携し共同研究に取り組むものです。

1人1台タブレット端末(学習ソフト)導入によって得られるデータを分析し、その結果を学校現場にフィードバックさせ教育改善を図ることを目的とする研究がスタートしました。

「福知山ならではの情報教育(ICT活用教育)」の概要

- コンピュータ室でのICTを活用した教育から1人1台タブレット端末等を活用した、よりアクティブなICTを有効活用した教育への転換
- ICTの環境整備によって、多様な子どもたちを誰一人取り残すことのない個別最適化された学びの持続的実現
- 情報モラルの育成を基盤としたコンピュータや情報通信ネットワークなどの情報手段の活用力を高める指導の充実
- ロボット教材、プログラミングソフト等を使用したプログラミング教育による、体験を通じた学びの中での「プログラミング的思考・論理的思考」の育成
- デジタル教科書の積極的導入と小学校3・4年社会科副読本「のびゆく福知山」のデジタル化及び有効活用
- 「ラーニングイノベーション・プロジェクト」を中心とした福知山公立大学情報学部の総合監修による専門的な知見を活かした新しい情報教育(ICT活用教育)の推進
- 福知山公立大学情報学部との連携による学習分析活用システム研究の推進